

報告書 1



報告日 2016年6月2日

氏名 町田 英文

出張内容	事業名	赤城山観光振興モニタリング事業 『日本の養蚕業と信仰の山赤城を体感』
	訪問先	1. 養蚕農家（前原様宅） 2. 青木旅館（昼食） 3. 赤城神社 4. 良農園
	期間	2016年5月28日（土）
	参加人数	アフリカ留学生11名 通訳2名 スタッフ3名 合計16名
	目的	アフリカ留学生を対象に、養蚕農業・赤城神社・良農園を視察して赤城の産業と信仰を体験する
	経費	108,000円 （内訳：バス代47,000円 講師謝金30,000円 保険1,000円 事務企画30,000円）

報告事項	ツアー内容	9:30	JR伊勢崎駅 点呼・自己紹介 出発 ・車中で養蚕、おかいこについて解説	
		10:15	養蚕農家 前原様 見学	 
				
		特記事項	前原様よりお蚕の育て方、飼育環境、繭までの流れ、また養蚕機械の貴重性等について説明を頂いた。留学生の方は、興味津々であり多数の質問があがった。また、最後にはきのこと栽培についても見学・説明頂いた。	
	所感	前原様は英語で挨拶もして頂き、快く説明をして頂いた。しかし、時期的に桑取りなど忙しい時期であり実際は見学に時間を取る時間は無いのが本音だと感じた。見学の場合は、前もって時間帯などこまかな調整と見学時のツアー側のフォローが大事である。		

コメント欄

確認

報告書 2



報告日 2016年6月2日
氏名 町田 英文

出張内容	事業名	
	訪問先	
	期間	
	参加人数	
	目的	
	経費	

報告事項	ツアー内容	12:00	青木旅館 昼食 昼食「ワカサギ定食」 日本酒 休憩時間 大沼体験	
		12:45	赤城神社 参拝・宮司より説明	
	特記事項	ワカサギ定食については、アフリカ系の方々には美味しく食べて頂いた。また日本酒については皆絶賛。赤城神社については、宮司の話と同時進行で通訳。社交的であり、一般人とも写真を撮り合うことが多々あった。		
	所感	食事の待ち時間に大沼を体感、とても喜んでくれた。大沼周辺まで行った場合は必ず足を運ぶことは必須。赤城神社での宮司の話については、外国人にとってまたは宗教別によりとても難しい。ただ、参拝をするだけでも日本の文化を体感でき良いと思う。		

確認	コメント欄			

報告書 3



報告日 2016年6月2日
氏名 町田 英文

出張内容	事業名	
	訪問先	
	期間	
	参加人数	
	目的	
	経費	

報告事項	ツアー内容	15:00 良農園	
		16:40 JA伊勢崎駅 到着・解散	
	特記事項	良農園より、畑での育てている野菜の種類。イタリアン野菜の紹介やハーブの試食。ハーブの収穫体験を行う。	
所感	時期的な問題もあり、収穫できる野菜は少なかった。また、畑の中であり説明者が大きな声を出しても全員に声が届かずグループがいくつかに分かれてしまった。拡声器等は必要である。		

確認	コメント欄			

報告書 4



報告日

2016年6月2日

氏名

町田 英丈

出張内容	事業名	
	訪問先	
	期間	
	参加人数	
	目的	
	経費	

報告事項	反省 課題	<ul style="list-style-type: none"> ●受入側は説明のプロではない方もいる。ツアー側での解説フォローが必要。 ●時期によりできる企画できない企画がある為、受入側との詳細打合せが必要。 ●見学時には場所にもよるが、拡声器、ショルダーマイク、等が必要。 ●ツアーでの道具（DVD、パンフレット、しおり、解説物）が必要。 ●同時通訳の場合、イヤフォンが必要。 ●車中での解説（ガイド）、魅力ある引率者が必要。 ●見学場所間での車中での景色や歴史、建物等についてのガイドが必要
	ツアー内容	<p>受入側 良農園 再訪5月30日</p> <p>伊能様 今回のツアーが急遽決まり、祝祭なのか農業体験なのか収穫体験なのか受入側としてわからずどんな説明をすればいいかわからなかった。</p> <p>また、時期により受入もできない場合はある。真夏は熱中症に注意も必要。 出植え終了後から秋口までの期間が受入としては良い時期。野菜を収穫し、サラダを試食等可能。</p> <p>前原様 再訪5月31日</p> <p>アフリカ留学生が熱心に話を聞き、質問してくれてありがたかった。 今後も受入は可能だが、時間は10時半～15時 春5月18日～5月28日 夏6月28日～7月5日 初秋7月28日～8月5日 晩秋9月8日～9月18日であれば可。</p>
	備考	
	備考	

確認	コメント欄			